演題：野母崎の自然Ⅱ

・鳥類…カツオドリ、カンムリウミスズメをはじめとした渡り鳥
・哺乳類…長崎半島に出没するハンドウイルカの特異性
・魚介類…深海魚、クラゲ、アオブダイほか
・昆虫…アサギマダラの飛来と幼虫越冬
・地質…野母崎の地質と恐竜
など、昨年からさらに広がった調査のご報告を中心にお話させていただきます。

イラストレーター／長崎伝習所のもざき自然塾 塾長　山本春菜

【自己紹介】
1985 年福岡生まれ。幼少期より自然に親しみ、動物を描いたり造形することにのめり込む。
福岡県立太宰府高等学校芸術科美術コースにて鍛金を、福岡教育大学生涯芸術課程にて鋳金を専攻。
大学を卒業後は、ヨーロッパの美術品を扱うアンティークショップに入社。傍ら、福岡県「芦屋釜の里」にて芦屋釜復興を担う職人の手伝い、鹿児島市平川動物公園の動物生態画を描く仕事にも携わる。合間に、全国の神社仏閣、名勝、博物館、美術館、動物園水族館等を巡り歩き、日本の文化伝承や自然との関り（生物の地方名や郷土料理、信仰など）が実に多様で地域性に富んでいること知る。人は人のみで生きることはできず、人の文化はその土地の風土自然と密接に関係しているが、現代それらが急速に失われつつあることに危機感をおぼえ、それらを次代に繋ぐための役割を果たしたいと思うようになる。
2015 年、縁あって長崎市地域おこし協力隊として野母崎地区に着任し、2018 年夏まで野母崎の文化や自然の調査および情報発信を中心に活動。以降はフリーのイラストレーターとして、継続して野母崎に在住。調査、情報発信も続行している。
「わかりやすく・面白く」を念頭に、人々の興味の扉を開く繋ぎ役になるべく活動中。

野母崎の日常を紹介しています→Facebook「野母崎情報」